



感謝の気持ちで 大掃除



<学校教育目標>

『自ら考え判断し、
表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子



校庭の二本の桜の葉もすっかり落ち、冬の訪れを感じる季節となりました。
保護者の皆様や地域の方々のおかげで、令和6年度第2学期も本日終業式を迎えることができました。今学期は、修学旅行や林間学校、各学年の校外学習、持久走記録会等、大きな行事がありましたが、それぞれの行事を通して子どもたちは、大きく成長しました。生活科や総合的な学習の時間でも、充実した活動が見られました。地域の方をゲストティーチャーとして招き、畑のことや野菜の販売、地域の環境の出前授業等、多くのことを教えていただきました。

さて、冬休みを迎えるにあたり、今まで頑張ってきたことを振り返り、気持ちよく3学期を迎えられるように、終業式では次のような話をしました。

皆さん、2学期は色々な行事や学習がありましたが、本当によく頑張りましたね。先週、大掃除週間があり、皆さんも自分の教室や机の中の整とん等行いましたね。大掃除は、日本で昔から行われてきた伝統行事の一つです。物を大切に丁寧に使い、きれいにして新年を迎えてきました。皆さんもこの冬休みに自分の身の回りの物を片付けたり、掃除をするときに感謝、ありがとうの気持ちをもって掃除や片付けをしてほしいと思います。自分の使った鉛筆や消しゴムに「ありがとう」と言いながら筆箱を整理してみる、いつも使っているランドセルに「ありがとう」と言いながら、中身を整理してみる等、自分の身の回りの物に感謝しながら整理整とんして、新たな気持ちで新年、3学期を迎えましょう、と話しました。

年末年始を迎える冬休みは、今年を振り返り新年の抱負や目標を考える良い機会です。子どもたちが、自分自身を見つめ、新たな気持ちで3学期を迎えられるように祈っております。引き続き、保護者の皆様や地域の方々のご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

